

元気モリモリニュース

市制100年目へ向けて

「昨年从今年にかけて、市制100周年を記念し、様々な事業が行われました。

先日、イオンで「春の肉まつり」が開催されましたが、これは、100周年事業で始まった肉フェスの試みが、独り立ちし、補助金なしで行われるようになった好事例だと思います。

ただ、予算段階で、2年間で約1億3200万円を見込んでいた100周年総事業費が、最終的にどういった事業にいくらか使われたのか、また、今後のまちづくりはどう活かしていくのか、まだ総括されていません。

市制100年事業を、単に「みんなの気持ちが一つになった。」市民皆で盛り上げ、郷土への愛着が増した。」といった効果で終わらせず、未来のまちづくりのための新しいアクションにつなげていきたいと思えます。



「ジャー坊」今年こそ!

子どもたちを元気にしてくれました。今年も、悲願の「ゆるキャラグランプリ」優勝とどのようにまちづくりに活かしていくのが課題です。

市議会定例会で質問しました

一般質問 平成29年9月23日

- ① 教育施策の充実について
 - ・ESDの推進
 - ・大牟田の学校教育の課題
 - ・小中一貫教育と学校再編成
- ② 市長の政治姿勢について
 - ・今後の財政運営
 - ・市制100周年と今後のまちづくり

一般質問 平成30年3月8日

- ① 動物園の整備事業について
- ② スクールソーシャルワーカーの活用について
- ③ 学童保育について
- ④ 介護予防日常生活支援総合事業について
- ⑤ 学校再編について

詳しくは、大牟田市議会ホームページ 議事録・インターネット録画(中継)をご覧ください。

家族(3世代)がともに暮らせるまちづくり

- ◎子供たちに確かな教育と夢を!
- ◎働く意欲のある人に仕事と希望を!
- ◎高齢者に安心と生きがいを!



絵本ギャラリーを動物園に創る意義は？

昨年10月、阿蘇（民間）と宮崎県の木城町（行政）に絵本美術館の視察に行きました。どちらも、とても魅力的でしたが、共通していたのは、**「絵本は、あくまできっかけ。道具である。」**ということと**「美術館事業に人生を賭けている守り神 終身館長」**のような人がいる。ということでした。

そして、2人の守り神たちは、異口同音に

最初の数年はもつが、長く維持していくのは難しい。」とのこと。

それぞれの館長の話を聞き、揺るぎないビジョンとそれをやり切る覚悟に感銘すると同時に、大牟田でやるのは、かなりハードルが高いなという印象を持ちました。

※1 阿蘇「阿蘇の自然を守るために」に美術館を建てた。」

木城町 子どもたちに、「ここしかできない自然体験を経験させるため。絵本はそのため触媒だ。」



① 葉祥明阿蘇高原絵本美術館



② 美術館の中の扉を開けると…絶景



③④ 内田麟太郎の世界展 in Zoo

その後、内田麟太郎の世界展「Zoo」が、動物園で開催されましたが、大きささまざまな仕掛けがあり、また歩きながら絵本が読めるようになっていて、③④、動物園全体が絵本ギャラリーとなっており、素晴らしいイベントでした。過性のイベントとしては良かったのですが、果たして常設の絵本ギャラリーが動物園に必要かといえば、疑問もあります。

一時は閉園も含めた検討の対象となった動物園が、今や大牟田市の顔として、市民の誇れる財産のひとつとなっているのは、市民の皆さんの愛情もさることながら、ひとえに、現場のスタッフさんの地道な努力のたまものであると思います。そういったスタッフさんこそが、どうすれば動物園が魅力的になるかをいつも考えていらっしゃるんじゃないでしょうか。

まずは、必要性や場所の問題も含めて、そういったスタッフさん、絵本のまちづくりの読み聞かせに尽力されている方々の意見やアイデアを頂きながら、しっかりとしたいビジョンを創るのが先決です。

学校教育の充実

本市の学力と体力の現状については、
学力については、小学校、中学校ともに全国の分布状況と比べ同じ傾向を示しているが、上位層が少なく、中位層と下位層が多い状況。体力については、全国に比べて小学校は良好な状況。中学は、項目によってやや下回っているものもあるが、改善が見られている。「との当局答弁でした。

また、課題については、
学力、体力ともに大きく一極化が見られる「
大量退職・大量採用時代に差しかかかっており 退職者40名前後、新規採用30名前後）、学校運営のあり方、教育・文化の継承などの課題も出てきている」とのことでした。

学力アップについて成果を上げている足立区、茨木市へ視察に行きました。共通点は、

- ①学力テストなどのしっかりと分析と明確な目標設定。
 - ②個々のレベルに合わせた一人一人にできるだけ向き合う指導。
 - ③先生方の授業力・指導力の向上への取り組み。でした。
- そして、それを支えるための研修と人員配置の充実でした。

大牟田においても、課題解決のため、予算をかけて、

○スクールソーシャルワーカーの中学校区1人配置に向けて増員配置

○中学校で実施している学習サポーターの平日配置の小学校での

実施 平成30年度から実現)

○教職員 特に新任)の研修の充実

を、要望しました。

議会・委員会でのその他の発言から)

○小中学校の机や椅子などの行政が整備すべき備品は、緊急なものであっても、市の予算から、しっかりと手当すべきではないか。

○学童保育の預かり時間の延長は、何年も議論されているが、保育士さんの勤務体制や確保の問題もあり、なかなか前入進まない。この際まずは、平日だけでも実施出来ないか。

○防犯灯の設置費については、10年もかけず、遅くとも5年以内にLEDへの転換希望分に対応できるように計画的な予算措置をとりたい。

立花宗茂公と三笠神社

お隣の柳川市が、NHK大河ドラマの誘致で、盛り上がりつつあります。

主役は、柳川藩の藩祖 立花宗茂。弟の 立花直次は、三池藩の藩祖です。この両者の実の父親が、三笠神社のご祭神 高橋紹運 公です。

岩屋城の戦いでは763名で、大宰府まで北上してきた2万とも3万ともいわれる島津の大軍を引き留め、時を稼ぎ、後方に控える宗茂・直次兄弟を助けたとされます。今日の大牟田市、柳川市につながる大切な人物です。郷土の偉人を祀る三笠神社、これからも大切にしていきたいと思えます。



三笠神社拜殿



高橋紹運公

これから展開に期待したい100周年2事業

大牟田100祭(SAI)高校生総合文化祭

市内の全7高等学校の協力により立ち上げた実行委員会により、準備段階から当日の発表・展示・食・体験まで、二年近くかけて、企画・実施されました。最後のファイナルとして、実行委員会のメンバーの挨拶がありました。彼らが、この事業を通して苦勞をする中で、大きく成長したんだな、と感じることが出来ました。このような、若者が活躍し、成長できる事業は是非続けていきたいと思っています。

押し花絵「創造展第14回コンテスト」

世界押し花絵芸術祭「大牟田2007」から、丸10年、全国レベルの押し花絵展が、開催されました。今回、市のホームページなどで「大牟田は押し花文化のふるさと」と明記されたのは、良かったと思います。これまで、大牟田市（行政）は、押し花文化に対しては、消極的で、他のまちの方がむしろ積極的にまちづくりを活かしています。すでに、ふるさと納税の返礼品などでの活用もなっていますが、今後は、より、属、押し花文化のふるさと」として、積極的なまちづくりへの活用を考えていきたいと思えます。



「大牟田100祭（SAI）高校生総合文化祭」



「杉野宣雄」氏の特別展示作品
(霧のかかった森の中にいるような、まるで写真です。カラーでお見せ出来ないのが残念。)

皆様のご意見をお知らせください。

(連絡先) 〒836-0807 大牟田市上町1-3-3-M201
電話/ファックス 0944-52-5095

(電話は留守番電話のときが多いので、よろしかったら、
メッセージをお願いします。)

Eメール mail@mori-jun.com

ホームページ http://www.mori-jun.com/

(「大牟田市議会議員 森 じゅん」で検索してください。)

